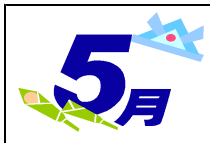




教育目標「志をもち鍛える たくましい生徒」



森町立泉陽中学校だより

令和元年 5月23日発行

キャッチフレーズ「靴を揃え 背筋を伸ばし 返事はハイ」

5月7日（火）朝礼講話 校長 寺田敦朗

10連休のゴールデンウィークが終わりました。この連休は家族とどこかへ出かけたり、のんびり自分の時間を過ごしたりして、リフレッシュできた人が多いと思います。この連休中の一番の出来事と言えば、前天皇陛下が退位されて上皇になり、皇太子殿下が即位されて新天皇陛下となられたこと、同時に、平成から令和へ元号が変わったことでしょう。私は昭和生まれなので、昭和から平成へ元号が変わったときもよく記憶していますが、あのときは昭和天皇が亡くなられての平成への改元で、今回のようにまるで新年＝元旦が2度来たようなお祭り騒ぎのおめでたい空気ではなく、昭和天皇崩御への追悼ムードでいろいろなことが自粛されがちな改元でした。今回の改元は、平成への改元同様私の中に深い記憶として残るでしょうが、きっと皆さんの記憶にも深く残る出来事になるでしょう。



さて、記憶に残ると言えば皆さんは、数学の公式だったり、社会の歴史上の人物や年号だったり、理科の元素記号だったり、覚えなければならないものをどうやって覚えていますか？よく歴史の年号などは「鳴くよウグイス平安京」とか「いい国作ろう鎌倉幕府」とか「以後の世みんな戦法変わる」とか語呂合わせで覚えたりしますよね。でもこの語呂合わせだって、それを覚えなければ始まりません。一度覚えたら絶対忘れない、という人は楽でいいのですが、実はそんな人はこの世にいないのです。

19世紀の終わりから20世紀の初めにかけて活躍したドイツの心理学者、エビングハウスによれば、人間は20分後には42%、1時間後には56%、1日後には74%を忘れてしまうということです。つまり人間というのは、よほどのことでない限り、その日にあった出来事のうち3割くらいしか覚えていないということです。実はこの「忘れてしまう」というのは人間の「忘れる」という能力でもあるのです。楽しいことやいやなこと、強く印象に残ったことは覚えているけれど、そうでもない普通のこととはどんどん忘れてしまう、そうでもしなければ人間の脳がパンクしてしまうということなのです。さらに、楽しいことといやなことでは、楽しいことほど記憶に残り、いやなことほど記憶に残らないようにできています。もしこれが逆だったらどうでしょう。人間の脳の中がいやな記憶でいっぱいになってしまうとしたら・・・おそらく多くの人が精神の病にかかってしまうでしょうね。

話を元に戻して、そんな忘れっぽい私たちが何かを覚えようとするにはどうすればいいのかです。1日後には7割忘れてしまう私たちですが、逆に1日後に覚えていた3割のことは1週間後や1ヶ月後でも覚えていないのだそうです。ということは、忘れてしまう前にしっかり復習して、1日後に忘れないようにすれば、そのことはしっかり記憶に残って覚えられるということです。学校の学習でいうならば、授業の内容の7割を翌日忘れてしまう、そうならないためには、その日のうちに授業の内容をしっかり復習することが大切です。

ある暗記術の本によれば、

- 1、10分程度後にまず復習
- 2、寝る前に復習
- 3、朝起きて復習

とにかく24時間以内に繰り返すことが重要です。

と書いてありました。また別の本には、

- “間違いなく復習しないとイケないのは、「翌日」”
- “3回目の学習は「7日後～10日後の間」”
- “4回目は「4週間後～6週間後の間」”

とも書いてありました。

来週には2・3年生の中間テストがあります。1年生もだんだん中学校の学習が本格化してきます。とにかく24時間以内に繰り返す復習に力を入れて、覚えることは覚えましょう。

学級目標紹介

学級目標が決まりました。
学級目標に込められた思いを紹介します。

1年生

学級目標『思いを形に』

【学習の柱】

中一の学習内容をしっかりと覚える。授業中に意見を言える。自信とやる気をもって堂々と発表ができる。

【生活の柱】

仲良く笑顔あふれる学級づくり。心を込めて挨拶ができる。その場に合った言動をとれる。

【行事の柱】

全員で団結できる。なんにでも挑戦できる。

【学級目標決定の経緯】

学校教育目標、学級担任の思いを再確認し、4月5月の生活の様子から、3月末には学級がどのようになりたいのかを話し合いました。出てきた意見をそれぞれ、学習、生活、行事の3つの柱に分類しました。現在の学級の様子から考えた良い点と改善点を踏まえ、それぞれの柱の重点目標を決定しました。これらの目標を達成するためのキーワードとして学級目標「思いを形に」を設定しました。「思い」は、自分がどうなりたいかという志を持つこと、仲間はどう考えているか感じ取れること、「形に」は、思いを行動や結果に結びつけることを意味しています。
(1年担任 杉山稔泰)

2年生

学級目標『初志貫徹』∞人の力で限界を超えろ！！

2年生の学級目標は、「初志貫徹」∞人の力で限界を超えろ！！です。この言葉には、学校生活や学校行事、ボランティア活動、部活動において、初めに抱いた志や目標を最後まで貫く。また、一人では乗り越えられない壁も全員で力を合わせて越えていき、共に成長し、励まし合えるクラスを目指していくという決意が込められています。

この1年間子供たちには、失敗を恐れずに何事にもチャレンジしてもらいたいと思っています。1番大切なことは結果や成功ではなく、「多くの失敗から学び、考えること」です。子供たちには失敗から「なぜ失敗したのか」「次はどうすればよいのか」をたくさん考えてもらいたいと思っています。

1年生の「お手本」、3年生の「支え」、そして、学校の「大黒柱」として！！担任、副担任、学年付き含め2年生11名、チーム一丸となって頑張っていきます！1年間よろしくお願いします。

※∞人には無限と8人という意味が込められています。

(2年担任 宮本敬利)

3年生

学級目標『感恩報謝』

3年生は、今年一年を「泉陽中に感謝をする1年にしたい」という思いを込めて、「感恩報謝」という学級目標を立てました。この四字熟語にはただ感謝をするだけではなく、その感謝の気持ちを態度で示し、恩返しをするという意味が込められています。「泉陽中最後の〇〇」と名がつく行事をひっぱり最上級生として今年一年学校を引っ張っていきたいと思います。泉陽中が閉校になる年、最後の卒業生としてお世話になった中学校に一年かけて感謝を込めて取り組んでいきたいと思っています。今年度もよろしくお願いいたします。(3年担任 太田華菜子)



【トイレ清掃について】(1年1組笠原優河 5月20日朝礼・意見発表より)

ぼくは、トイレ清掃について話します。トイレ清掃は、小学校ではありませんでした。中学校でトイレ清掃があると聞いてびっくりしました。4月には、初めてトイレ清掃をしました。一回目のトイレ清掃は、天方小と幼稚園のトイレを掃除しました。初めてだったので、やり方が分からなかったけれど、先輩達が教えてくれました。トイレ清掃をする目的は、「トイレを磨くことで、自分の心も磨くことができる。」というものでした。トイレを磨いた後、心がすっきりしたので、この目的を意識してできたと思いました。ぼくは、このトイレ清掃という行事は、とてもいいものだと思います。トイレを磨いた自分もいい気持ちになるし、トイレを使う人も嫌な気持ちにならないので、トイレ清掃は大切な行事だと思います。

泉陽中学校は、統合してしまうけれど、トイレ清掃という伝統をこれからも残す、つなげることができたらいいなと、ぼくは思います。

